

「校長室」通信

第7号

三股町立三股中学校だより

平成30年7月9日(月) 文責: 校長 永山博一

命を大切にする 追悼集会

6月27日(水)に追悼集会を開催しました。

1969年(S44)6月30日南九州全域が豪雨に見舞われました。午後3時、勝岡新坂の町道で高さ10m、幅30mにわたり土砂崩れがあり、中学2年生女子4名が生き埋めになり、200人で救助しましたが、午後6時に死亡が確認されました。毎年、本校では集会を開き犠牲者に黙祷をするとともに、命を考え、大切にする講話等を実施しています。今回は、1年担任の米田先生が、ご自分の弟が幼くして、亡くなったことをお話いただきました。心に響くお話でした。ありがとうございます。



勝岡新坂 慰霊地蔵尊清掃



地蔵尊にお参りました

【生徒会で事故現場周辺の清掃とお参りをしました】

PTA主催 「三股っ子の会」

7月3・4日の2日間、PTA主催で20年



SSW大田原さん講演

来実施している『三股っ子の会』を開催しました。目的の1つに、家庭・地域・学校が連携して子どもを育てることがあります。

これまで、地区単位で実施していましたが、試行として、今回PTAで企画しました。

講演は、講師として、スクールソーシャルワーカー(SSW)大田原ひとみさんのお話でしたが、大変わかりやすく、家庭教育や学校教育に示唆をいただける素晴らしい内容でした。

参加者は、公民館長、民生委員児童委員等、三股中職員、保護者でした。保護者は全P戸数の約8割の参加をいただきました。ありがとうございました。

性に関する講演会・学校保健委員会

7月6日(金)に3年生を対象に、性教育として『性に関する講演会』を実施しました。

- 演題『輝く人になりましょう』～思春期の心と体～
- 講師 長鶴 美佐子 氏(宮崎県立看護大学教授)

- ・両親は、生まれたことを誰よりも喜んでいきます。
- ・思春期にはイライラすることや他人と比べてしまうことがあります。
- ・男女は、それぞれ体のしくみや違いを理解し、接していくことが大切です。

3年生にとっては、命の大切さや男女で思いやること、親への感謝、将来に向けて、多くの学びと感動のある講演会になりました。

- 学校保健委員会ではテーマ『健やかな心と体を育むために』～中学生期に身に付けさせたい健康な生活の視点～各立場から、様々な提案をいただきました。

- 県立看護大学 長鶴 美佐子 氏
- 学校歯科医 山下 真 氏
- 町保健師 川原 雪菜 氏



学校保健委員会

『歯』に関して、虫歯が多いこと。治療率が良くないこと。があげられました。

歯は、治療しなければ治りません。

是非、夏休み期間中に病院に行きましょう。

校長のひとりごとコーナー

★以前、一般企業社員を対象にした「社会人として失格」というアンケートが、載っていました。その結果は1位「あいさつをしない人」 2位「時間を守らない人」以下「ミスや失敗をしても謝らない人」、「ミスや失敗を他人のせいにする人」でした。三股中でも「校門で止まって一礼」を実践していますが、たった1秒です。できていますか? あいさつができることは、人間力です。印象に残る『あいさつ』は、人生を変えることもあります。★今回はもう一つ、忘れられない言葉を紹介します。私が小学6年時の二川先生が、「お金や物は、人にとられることもあるけれど、勉強したことは誰にもとられることはないよ。勉強したことが財産だよ。」と、よくおっしゃってました。社会の授業が楽しく、「西郷どん」に興味湧き、歴史好きになりました。三股町は、以前から「米の蔵より、人の蔵」という言葉があり、教育を重んじてきました。二川先生は三股にお住まいだったと思います。生徒の皆さんにとって勉強は机の上の勉強だけでなく、人間関係、部活動など日々勉強することはたくさんあります。56歳になっても、日々宿題と勉強の連続です。